

ProMED-mail 情報 2018年 3月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
28日	ボルナ病 ドイツ	3月7日、連邦食品衛生研究所は、ドイツで、ボルナ病ウイルスに4人が感染し脳炎を発症し、うち3人死亡したと研究報告した。感染者のうち3人は、ドイツ南部の1人の臓器提供者からの臓器受領者で、うち2人が死亡した。ボルナ病は18世紀初め、ドイツのボルナ町での流行に由来するウイルス性の神経疾患で馬や羊に自然感染する人獣共通感染症。
25日	レプトスピラ症 レユニオン島(フランス領)	レユニオン島(インド洋上の火山島)における、2010年から2017年までの感染者は平均61人で、その35~60%は1月から5月の感染者だった。2018年は1月から3月20日までに死亡1人を含む42人が感染した。前年の同時期より多く、大雨との関連が強い。
24日	ギニア虫感染症 南スーダン	南スーダンでは、1996年に118,578人の感染があり、2000年に54,890人に減少したが、内戦終了後、2005年に撲滅事業を開始した。2016年に6人の感染が報告されたが、2017年より2018年2月まで感染の報告がなく、撲滅に成功した。
24日	ジフテリア ドミニカ共和国	ヒスパニオラ島の隣国ハイチでは、2014年末から2018年6週までに410人感染し、うち75人死亡した。そこで、ドミニカ共和国公衆衛生省は、ダジャボン州の国境地域で予防キャンペーンを実施している。また、ダジャボン州保健局を通じ、住民に警告した。
22日	ノロウイルス感染症 韓国	2018年2月に平昌オリンピックで約300人の警備員間の流行がみられたが、公衆衛生当局は、流行の原因は570台設置されたポータブルトイレの汚染された水タンクの水で手を洗ったためとした。トイレの水タンクで検出されたウイルスの遺伝子型は患者のものと同じだった。トイレの水タンクと浄化槽は適切に分離されていなかった可能性が高く、当局は全ての水タンクを掃除して滅菌し古いトイレを5つ交換した。
21日	髄膜炎菌性髄膜炎 フィジー	保健省は、髄膜炎菌性疾患の流行を宣言した。近年、症例数は増加している。2016年以前は年間1~10件、2016年は29件、2017年は48件、2018年は2月21日時点で、18件だった。2017年の症例の死亡率は14.4%で、フィジーのデング熱感染者の死亡率(0.4%~0.6%)よりはるかに高いことが、保健省が流行宣言する背景にある。
20日	リーシュマニア症 シリア	2018年3月、医療機関は、シリア北部と中央部のイリッブ、アレppo、ハマの各郡で感染した約35,000人の感染症例を記録した。皮膚リーシュマニア症と内臓リーシュマニア症の2種類が広まっており、人々の戦争避難、爆破された建物瓦礫内の死体、下水の漏出に関係した不衛生環境で、サンチョウバエが媒介。
19日	鳥インフルエンザ(家禽) 韓国	3月18日、農業当局は、京畿道平沢市、楊州市、忠清南道牙山市の3つの養鶏場で高病原性鳥インフルエンザH5N6を確認し、H5型が発見された場所の半径3km以内の京畿道の800,000羽と忠清南道の450,000羽を処分した。さらに、3月17日から全家畜に対して48時間の輸送を禁止した。
17日	感染性胃腸炎 インド	地元当局は、インド南部のアーンドラ・プラデーシュ州のグントゥール地域で感染性胃腸炎が発生、少なくとも10人死亡し、900人以上が嘔吐・下痢・発熱を訴え入院した。町の飲料水汚染が原因と考えられ、30年以上の古い給水管の検査チームと、治療のための特別な医療キャンプが組織された。
15日	水痘 スリランカ	Badulla県にあるUva-Wallassa大学の学生寮に滞在中の数十人の学生間で流行したため、3月13日、大学は、感染拡大を防止するため全学部を休校にすると発表した。
13日	リーシュマニア オーストリア(輸入例)	オーストリア出身の56歳男性が2017年6月にマルタ共和国に旅行した後、同年11月にかゆみと傷を伴う丘疹を訴えた。皮膚病変は2cmまでの大きさで、四肢全てに散在していた。肝脾腫はみられなかった。PCRにて診断後、ミルテフォシン内服を開始された。20世紀初頭のマルタは、リーシュマニア症は一般的だったが、内臓リーシュマニア症が1年に3~4例と減少している。
12日	リフトバレー熱 南スーダン	人と家畜の両方で東部レイク州を中心に流行している。3月9日現在、YirolEast郡とYirolWest郡から40人の感染疑いと、うち4人の死亡が報告された。感染疑い40人のうち6人は確定例、3人は可能性が高い症例、12人は検査中、19人は検査結果陰性だった。疑い例の57.1%は女性で、72.2%が20~39歳だった。
3日	髄膜炎 南スーダン	2月18日、イマトン州内のAyachi郡で7人、その2日後、同州内のToritEast郡で11人が発症し死亡。政府当局は、髄膜炎による死亡と疑っているが、検査はされていない。同州では、検査診断されず、入院中の患者もみられる。
1日	ジフテリア イエメン	WHOは2月28日、内戦で崩壊したイエメンでのジフテリア流行による死亡は72人に増加したと発表した。国連機関によれば、イエメン23州のうち、20州で1,193人の疑い例が登録され、とくに中部および西部のイッブやアルファイダ地域が深刻である。